

平成 28 年度 第 2 回霧島市母子保健検討委員会 会議趣旨

開催日時	平成 29 年 3 月 10 日（金） 19:30～20:40		
開催場所	国分シビックセンター公民館 3 階 中研修室		
出席委員	碓元委員長、前田委員、宮川委員、山崎委員、中西委員、安崎（代理）委員 塗園委員		
事務局	林健康増進課長、早淵すこやか保健センター所長、田上子育て支援課長 島木課長補佐兼健康増進グループ長、吉村健康づくり推進室長、鮫島こども 家庭支援室長、重留グループ長、中村サブリーダー、上小園主査、福本主査、 木原主査、小島主査、		

公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0 人
-----------------	----	------	-----

議事

- (1) すこやかきりしま親子 21（第 3 次）アンケート（案）について
- (2) 平成 28 年度 母子保健事業実績（平成 29 年 1 月末現在）について
- (3) 平成 29 年度 母子保健事業計画（案）について
- (4) その他

協議結果等の概要

委：委員

事：事務局

- (1) すこやかきりしま親子 21（第 3 次）計画アンケート（案）について
⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。

委：15 頁の問 6 及び 16 頁の問 10 の飲酒及びお酒の回答項目について、「毎日」を「月に 10 日以上」に変更してもよいのではないかと。3 日に 1 回吸っている（飲んでいる）のは常習に近いと判断してもよいのではないかと。

事：回答項目の「毎日吸っている」を「月に 10 日以上吸った」に変更する。

委：15 頁の問 4 について、ストレスの発散方法が「ある」「なし」だけでなく、その具体的な方法について問うことはしないのか。

事：検討したい。

- (2) 平成 28 年度 母子保健事業実績（平成 29 年 1 月末現在）について
- (3) 平成 29 年度 母子保健事業計画（案）について
⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。

委：健康福祉まつり当日に母子健康手帳を持参された妊婦が、歯周病健診を受診できる体制を整えることについて検討してもらいたい。

事：今後検討する。

委：母子保健推進員の実績が、出生数に対して少ないのはなぜか。

事：医療ニーズが高く長期入院している児や里帰り期間が長い母子、ハイリスクケースは地区担当保健師等が訪問している。今回の実績は、このようなケースを出生数から差し引いた数値である。

委：こども発達サポートセンターの学童期の相談件数が増えているというが、資料からは読み取れない。年齢構成がわかる資料があるとよい。

事：発達に関する電話・来所相談のみでみると、平成 24 年度開所当時は学童期の割合が、相談件数の 40%を占めていたが、平成 27 年度は 60%を超えている。

委：支援が必要な子の就園先について、相談や調整をしてくれる部署があるのか。子育て支援課との情報連携は行っているのか。

事：現在は、ワンストップで相談を受けられるような相談先の一元化の体制はないが、情報共有や連携は常に行っている。相談先の周知については努力していく。

委：発達障害を診ることができる専門医は県内でも少ない現状だが、霧島市として現在発達外来に従事している 2 名の先生を常勤として雇う構想があると聞いたが、どうなのか。

事：今後県も含めて 2 市 1 町含めた広域的な体制について検討していく。

(4) その他

会議資料

【配布資料】

- 会次第
- 平成 28 年度霧島市母子保健検討委員会委員名簿
- 霧島市健康・生きがづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱
- すこやかきりしま親子 21（第 3 次）のアンケート（案）
- 健康きりしま 21（第 3 次）策定に関するスケジュール（案）
- すこやか親子 21（第 2 次）イメージ図
- すこやかきりしま親子 21（第 2 次）指標
- すこやかきりしま親子 21（第 3 次）アンケート（案）
- 平成 28 年度 母子保健事業実績報告（平成 29 年度 1 月末現在）について
- こども発達サポートセンターあゆみ実績
- 平成 29 年度 母子保健事業事業（案）について
- 乳児健診通知書・問診票
- 霧島市マタニティ歯ッピー検診 受診票
- 健康きりしま 21（第 2 次）概要版